

MRI乳がん検診問診票

以下の問診に記入をお願いします。

氏名 _____ 年齢 _____ 歳 (男・女)

1 現在、気になる症状がありますか。 (いいえ・はい)

(はいの方はご記入ください)

・いつ頃から _____
・症状 _____

2 今までに大きな病気や、手術を受けられたことがありますか。 (いいえ・はい)

(はいの方はご記入ください)

・いつごろ _____ 歳頃 _____ 歳頃 _____ 歳頃
・どんな病気で _____

3 妊娠、または妊娠している可能性はありますか。

(いいえ・はい・わからない)

4 乳がん手術や豊胸術で乳房インプラントが入っていますか。

(いいえ・はい)

5 ペースメーカーや植込み型医療機器はありますか。

(いいえ・はい)

6 血縁者（両親・兄弟姉妹・祖父母）でがんにかかった方はいますか。

(いいえ・はい)

はいの方 乳がん(続柄:) 卵巣がん(続柄:) 他のがん(続柄: 、病名)

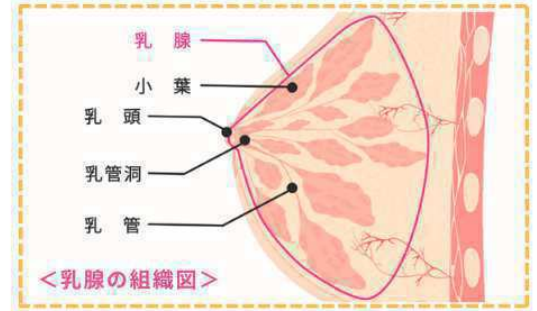
7 喫煙しますか。

(いいえ・はい) はいの方 (_____ 本/日、 _____ 歳から)

禁煙した (_____ 年前から。 それまでの喫煙 _____ 本/日× _____ 年間)

MRI 乳がん検診

- ・ 圧迫しないから痛くない
- ・ 着衣O.Kだから見られない
- ・ 被ばくがゼロだから安心
- ・ 死角が少なく異常所見発見率が高い
- ・ 日本人の乳房に適している（高濃度乳房）



QUESTION 01

乳がんってどんな病気？

乳がんは、乳房にある乳腺（母乳をつくる場所）に発生する悪性腫瘍です。

乳管という乳汁の流れ道の管や、小葉という奥の方の組織のいずれかから発生します。

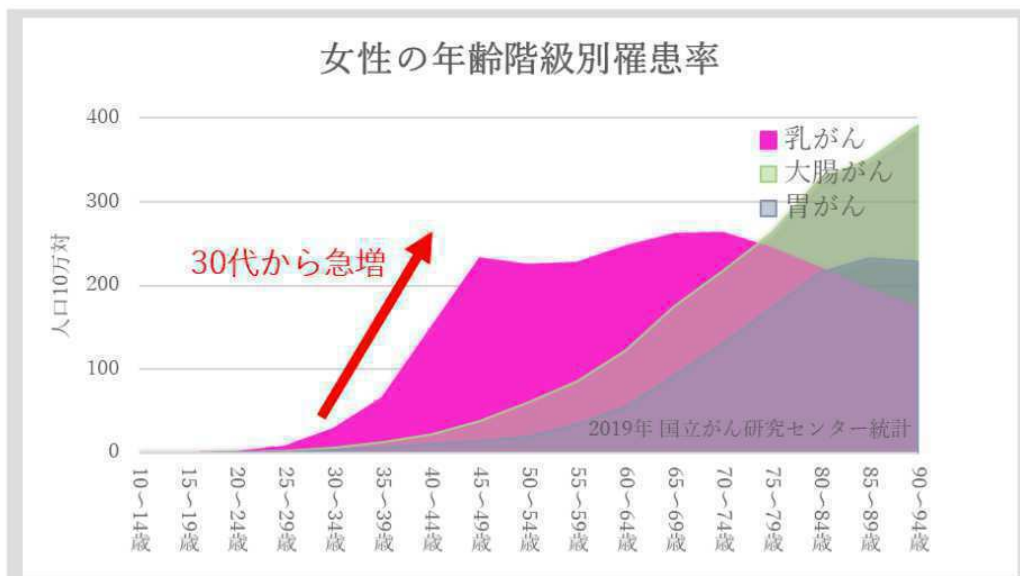
乳管の中に“がん”がとどまっている場合は非浸潤がん（DCIS）といい、乳管を破って周りの乳腺に及ぶと浸潤がんと言います。

症状は「しこり」「分泌物」のほかに「腫れ」や「痛み」のことが多いですが、これらは乳がん以外でもよく起こる症状ですので、定期的な検診で見分けることが大切です。

乳がんは30代から急増

ほかのがんに比べて若い世代でも発症しやすいことも特徴で、30代前半から増え始めます。

乳がんは急速に増えており、年間約1万3,000人が亡くなっています。これは乳がんを発症した人の30%程度にあたります。乳がんの罹患率は30代後半から増加し始め、40代後半から50代後半がピークになります。閉経後の60代前半で再びピークを迎える傾向があります。



働き盛り世代の女性がかかり、女性のがん死トップ5*に入るのが乳がんです。

1位 大腸がん 2位 肺がん 3位 膵臓がん 4位 結腸がん 5位 乳がん 6位 胃がん

*国立がん研究センター統計2020年データ

QUESTION 02

豊胸術、乳房インプラントが入っていますが受けられますか？

乳房手術には大きく分けて、乳がん手術の場合と豊胸術の場合があります。

MRI乳がん検診は乳房を圧迫することがないので乳房インプラントが入っていても検査可能です。しかし、乳房インプラントの種類によって画像不良部分が生じることがあるため異常所見の発見率が低下することがあります。

シリコン製インプラントや金属製マイクロチップが入っていると広範囲に白く映ったり、画像不良部分が生じますので、これらの場合は診断能が著しく低下したり、受けることができない場合があります。

Q

A

QUESTION 03

撮像時間は？

検査時間は約15分程度です。

受付(問診・詳しい説明) → 着替え(検査着またはTシャツ) → 検査(15分程度) → 会計の流れになっており、すべての行程を合わせた所要時間は1時間ほどとなります。

Q

A

QUESTION 04

準備することは？

検査着のまま受けられますので、洋服の指定もありません。

ご自身でTシャツを用意するときは大きめで装飾がないものをご持参ください。(プリントなどは大丈夫です)

*診断効率を確保するために検査着になっていただき乳房側を開いての検査をお願いすることがあります。その時も女性スタッフの対応になりますのでご安心ください。

MRI検査なので磁性体を身に着けて検査をすることはできません。検査前に放射線技師が確認をいたしますのでご安心ください。

食事や服薬制限はありません。普段とおりで大丈夫です。

Q

A

QUESTION 05

被ばくはありますか？

ありません。MRI検査ですので医療被ばくはゼロです。

何度受けられても被ばくはいたしませんので定期的な検診に向いていると言えます。

Q

A

QUESTION 06

生理や妊娠・授乳とは関係ありますか？



生理前に乳房が張る時期は乳腺の水分が多くなり、がんの検出率が落ちます。

MRI乳がん検診では、生理の開始日と翌日は避けていただき3～21日を推奨します。最適は生理開始から5～14日なので可能であればこの時期に受けることをお勧めします。

4週目（次の生理の直前）でも検査ができないほどではありませんが、せっかく受けるわけですから診断能が高い状態をお勧めします。

生理の周期がズレてしまったときなどは、どうぞお電話等で当院へご相談ください。

閉経後の方はいつでも受けることができます。

授乳中は乳腺が豊かになりますのでがんの見つかる効率は下がります。

問診時に妊娠・授乳の確認をするのはこのためです。受診される場合は診断能が通常より低下することをご了承ください。

なお、妊娠中のMRI検査は、かかりつけの専門医師の診察が必要となりますので、医師から推奨がない場合は受診することができません。

QUESTION 07

MRI乳がん検診はどのくらいの頻度で受ければよいですか？



原則は2年に1回ですが、推奨は1年に1回です。

乳がんリスクが高いと考えられる方や近い親族に乳がんにかかった人がいる方などは1年に1回の受けることをお勧めいたします。

国の検診では、放射線被ばくの影響をなるべくさけるため、40歳未満の方のマンモグラフィー（X線撮影）の受診を推奨していません。しかし、MRI乳がん検診は放射線と無関係ですので安心して繰り返し受けることができます。

QUESTION 08

閉所恐怖症なのですが大丈夫ですか？



閉所恐怖症は狭いと感じるところに入ると心臓がドキドキしたり、緊張して冷や汗がでたり、気分が悪くなる症状のことを言います。

多くのMRI検査は閉所恐怖症の方にはつらい検査ですが、MRI乳がん検診の場合はうつ伏せで足から入るため、比較的気持ちは楽になるかと思えます。

どうしても無理という場合は受けることができません。しかし、人によってその日の体調次第では検査ができたというケースもありますので、まずは受けてみることをお勧めします。

MRI 乳がん検診を受けることができない場合

1. 心臓ペースメーカー、植込み型除細動器、人工内耳など体内金属が埋め込まれている方
(できる場合もありますのでご相談ください。)
2. 神経刺激装置が埋め込まれている方
3. 1か月以内に大腸や胃のポリープなどをクリップされた方
4. 胸部に金属が埋め込まれている方 (できる場合もありますのでご相談ください。)
5. 大きな入れ墨がある方
入れ墨に鉄粉が含まれており、やけど・変色の原因になります。
(承諾の上、可能な場合があります。)
6. 磁石式の入れ歯をしている方
(外すことができれば可能です。そのまま検査すると磁石が付かなくなります。)
7. 妊娠中・妊娠の可能性のある方
8. 古い人工心臓弁の手術を受けられている方
9. チタン製以外の脳動脈瘤クリップが入っている方
10. 金属製の義眼を装着している方
11. その他、当院のMRI検査時チェック項目に該当する方
(上記でもできる場合がありますのでご相談ください)

【重要】 当日は粉末状やスプレー型などの白髪染めはお控えください。

内容物に鉄粉が含まれていることがあり、MRI装置の精度を下げます。

【お化粧品・コンタクト・アクセサリーについて】

化粧品には磁性体が含まれているもの（マスカラ・アイライン・アイシャドウ等）があり、検査画像に影響が出るだけでなく、目の周りの皮膚や目の粘膜等を傷つけたりする可能性がありますので、検診当日はお化粧をせずにご来院ください。目の周り以外の薄めのお化粧品は大丈夫ですが、場合によってはお化粧を落としていただくことがあります。

コンタクトレンズ、特にカラーコンタクトには材質に金属が使用されている場合がありますので、検査前には必ず外していただきます。

アクセサリーのほとんどは金属が含まれていることが多いため、検査時には外していただきます。下着で金属ワイヤー等が入っているブラジャー・ボディースーツは着用いただけません。

◎ MRIは大きい音がしますが、使い捨ての耳栓やヘッドフォンで対応いたします。

QUESTION 02

豊胸術、乳房インプラントが入っていますが受けられますか？

乳房手術には大きく分けて、乳がん手術の場合と豊胸術の場合があります。

MRI乳がん検診は乳房を圧迫することがないので乳房インプラントが入っていても検査可能です。しかし、乳房インプラントの種類によって画像不良部分が生じることがあるため異常所見の発見率が低下することがあります。

シリコン製インプラントや金属製マイクロチップが入っていると広範囲に白く映ったり、画像不良部分が生じますので、これらの場合は診断能が著しく低下したり、受けることができない場合があります。

QA

QUESTION 03

撮像時間は？

検査時間は約15分程度です。

受付(問診・詳しい説明) → 着替え(検査着またはTシャツ) → 検査(15分程度) → 会計の流れになっており、すべての行程を合わせた所要時間は1時間ほどとなります。

QA

QUESTION 04

準備することは？

検査着のまま受けられますので、洋服の指定もありません。

ご自身でTシャツを用意するときは大きめで装飾がないものをご持参ください。(プリントなどは大丈夫です)

*診断効率を確保するために検査着になっていただき乳房側を開いての検査をお願いすることがあります。その時も女性スタッフの対応になりますのでご安心ください。

MRI検査なので磁性体を身に着けて検査をすることはできません。検査前に放射線技師が確認をいたしますのでご安心ください。

食事や服薬制限はありません。普段とおりで大丈夫です。

QA

QUESTION 05

被ばくはありますか？

ありません。MRI検査ですので医療被ばくはゼロです。

何度受けられても被ばくはいたしませんので定期的な検診に向いていると言えます。

QA

QUESTION 06

生理や妊娠・授乳とは関係ありますか？



生理前に乳房が張る時期は乳腺の水分が多くなり、がんの検出率が落ちます。

MRI乳がん検診では、生理の開始日と翌日は避けていただき3～21日を推奨します。最適は生理開始から5～14日なので可能であればこの時期に受けることをお勧めします。

4週目（次の生理の直前）でも検査ができないほどではありませんが、せっかく受けるわけですから診断能が高い状態をお勧めします。

生理の周期がズレてしまったときなどは、どうぞお電話等で当院へご相談ください。

閉経後の方はいつでも受けることができます。

授乳中は乳腺が豊かになりますのでがんの見つかる効率は下がります。

問診時に妊娠・授乳の確認をするのはこのためです。受診される場合は診断能が通常より低下することをご了承ください。

なお、妊娠中のMRI検査は、かかりつけの専門医師の診察が必要となりますので、医師から推奨がない場合は受診することができません。

QUESTION 07

MRI乳がん検診はどのくらいの頻度で受ければよいですか？



原則は2年に1回ですが、推奨は1年に1回です。

乳がんリスクが高いと考えられる方や近い親族に乳がんにかかった人がいる方などは1年に1回の受けることをお勧めいたします。

国の検診では、放射線被ばくの影響をなるべくさけるため、40歳未満の方のマンモグラフィー（X線撮影）の受診を推奨していません。しかし、MRI乳がん検診は放射線と無関係ですので安心して繰り返し受けることができます。

QUESTION 08

閉所恐怖症なのですが大丈夫ですか？



閉所恐怖症は狭いと感じるところに入ると心臓がドキドキしたり、緊張して冷や汗がでたり、気分が悪くなる症状のことを言います。

多くのMRI検査は閉所恐怖症の方にはつらい検査ですが、MRI乳がん検診の場合はうつ伏せで足から入るため、比較的気持ちは楽になるかと思えます。

どうしても無理という場合は受けることができません。しかし、人によってその日の体調次第では検査ができたというケースもありますので、まずは受けてみることをお勧めします。

MRI 乳がん検診を受けることができない場合

1. 心臓ペースメーカー、植込み型除細動器、人工内耳など体内金属が埋め込まれている方
(できる場合もありますのでご相談ください。)
2. 神経刺激装置が埋め込まれている方
3. 1か月以内に大腸や胃のポリープなどをクリップされた方
4. 胸部に金属が埋め込まれている方 (できる場合もありますのでご相談ください。)
5. 大きな入れ墨がある方
入れ墨に鉄粉が含まれており、やけど・変色の原因になります。
(承諾の上、可能な場合があります。)
6. 磁石式の入れ歯をしている方
(外すことができれば可能です。そのまま検査すると磁石が付かなくなります。)
7. 妊娠中・妊娠の可能性のある方
8. 古い人工心臓弁の手術を受けられている方
9. チタン製以外の脳動脈瘤クリップが入っている方
10. 金属製の義眼を装着している方
11. その他、当院のMRI検査時チェック項目に該当する方
(上記でもできる場合がありますのでご相談ください)

【重要】 当日は粉末状やスプレー型などの白髪染めはお控えください。

内容物に鉄粉が含まれていることがあり、MRI装置の精度を下げます。

【お化粧品・コンタクト・アクセサリーについて】

化粧品には磁性体が含まれているもの（マスカラ・アイライン・アイシャドウ等）があり、検査画像に影響が出るだけでなく、目の周りの皮膚や目の粘膜等を傷つけたりする可能性がありますので、検診当日はお化粧をせずにご来院ください。目の周り以外の薄めのお化粧品は大丈夫ですが、場合によってはお化粧を落としていただくことがあります。

コンタクトレンズ、特にカラーコンタクトには材質に金属が使用されている場合がありますので、検査前には必ず外していただきます。

アクセサリーのほとんどは金属が含まれていることが多いため、検査時には外していただきます。下着で金属ワイヤー等が入っているブラジャー・ボディースーツは着用いただけません。

◎ MRIは大きい音がしますが、使い捨ての耳栓やヘッドフォンで対応いたします。

当日の流れ

1. 当日は、受付カウンターにて受付してください。
2. 問診票を受付で受け取りご記入後、受付に提出してイスでお待ちください。
3. 書類の確認、問診をいたします。
4. お名前をお呼びして、MRI前室の待合へご案内いたします。
5. 持ち物確認、準備ができましたら、MRI室へご案内いたします。
6. MRI乳房撮像を行います。
入室から退室まで約20分です。
7. お会計
会計カウンターにてご精算ください。

【料金一覧】

MRI乳がん検診 19,800円（税込）

8. 検査結果は、3週間以内に郵送いたします。
上記日数が経過しても結果が届かない場合は下記までご連絡ください。

社会医療法人孝仁会 留萌セントラルクリニック (TEL) 0164-43-9500
予約受付時間(平日) 09:00 ~ 16:00

ご不明な点がございましたら、当院までご相談ください。

※ 結果内容につきましては、お問い合わせでお答えできません。

～待ち時間につきまして～

当院は、救急対応の病院としての役割も担っております。
皆様にはご予約の上で、ご来院いただいているところではございますが、
有事の際には、救急車・救急患者さまをご優先させていただきますこと、
どうぞ、ご理解とご協力のほどお願いいたします。

